

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2028年10月6日まで（2018年10月9日設定）	
運用方針	チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）         </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# チャイナ・イノベーション・オープン

第2期（決算日：2019年10月21日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「チャイナ・イノベーション・オープン」は、去る10月21日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 騰落					
(設定日)	円		円		%	%	%	百万円	
2018年10月9日	10,000		—		—	—	—	300	
1期(2019年4月22日)	11,823		0		18.2	95.3	—	394	
2期(2019年10月21日)	10,983		0		△ 7.1	96.0	—	353	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰	落率				
(期首)	円		%		%		%
2019年4月22日	11,823		—		95.3		—
4月末	11,498		△ 2.7		94.2		—
5月末	9,792		△17.2		91.4		—
6月末	10,286		△13.0		93.6		—
7月末	10,454		△11.6		94.7		—
8月末	10,219		△13.6		95.4		—
9月末	10,472		△11.4		96.2		—
(期末)							
2019年10月21日	10,983		△ 7.1		96.0		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

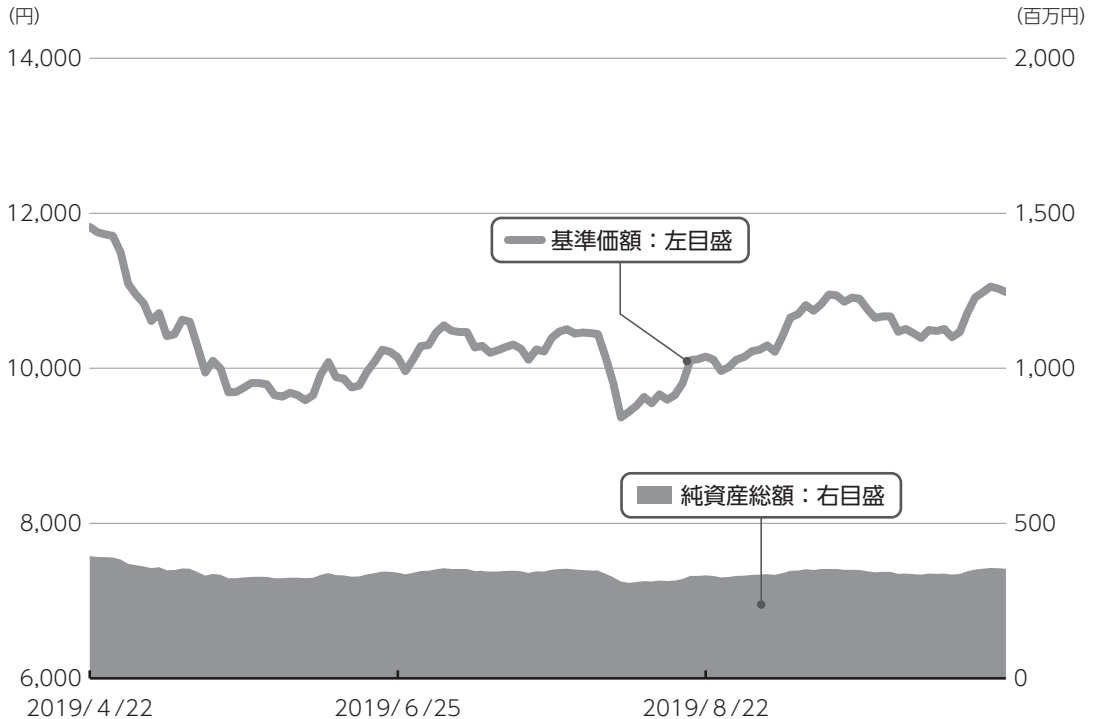
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第2期：2019年4月23日～2019年10月21日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第2期首	11,823円
第2期末	10,983円
既払分配金	0円
騰落率	-7.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.1%の下落となりました。

## ▶ 基準価額の変動要因

### 下落要因

組入銘柄であるBAIDU INC - SPON ADRやTENCENT HOLDINGS LTDなどの株価が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

第2期：2019年4月23日～2019年10月21日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況

**香港及び中国本土株式市況は下落しました。**

香港株式市況は、トランプ米大統領が対中関税の引き上げを表明したことや、香港において「逃亡犯条例」改正案を巡る抗議デモが継続したことなどが嫌気され下落しました。中国本土株式市況も、中国人民銀行（中央銀行）による金融緩和策などを受けて上昇する場面もありましたが、米中摩擦の長期化懸念などを背景に、期を通してみると下落しました。

### ▶ 為替市況

**香港ドル及び中国人民元は下落しました。**

香港ドル及び中国人民元は、米中貿易摩擦を巡る不透明感が高まったことなどを背景に円に対して下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ チャイナ・イノベーション・オープン

チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券の組入比率を概ね99%以上に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

### ▶ チャイナ・イノベーション マザーファンド

中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資し、主として中長期的な値上がり利益の獲得をめざして運用を行いました。

銘柄選定にあたっては、中国における電子商取引やインターネットビジネスの成長の恩恵を受けると判断したインター

ネット関連大手銘柄への重点的な投資を継続しました。

ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね40銘柄程度で推移させ、期末は37銘柄としました。

企業業績や株価動向を踏まえ、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。その結果、SHENZHOU INTERNATIONAL GROUPを新規購入する一方、CHINA TELECOM CORP LTD-Hの全売却などを行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2019年4月23日～2019年10月21日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,878

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ チャイナ・イノベーション・オープン

引き続き、チャイナ・イノベーション  
マザーファンド受益証券を主要投資対象  
として運用を行います。

これまでと同様、マザーファンドの組入  
比率を高位に保つ方針です。

堅く推移すると見えています。

株式組入比率については、概ね90%以上  
の水準を維持する方針です。

### ▶ チャイナ・イノベーション マザー ファンド

引き続き、中国の株式等を主要投資対象  
とし、次の時代を創る中国のイノベー  
ション企業に投資することで、主として  
中長期的な値上がり益の獲得をめざして  
運用を行います。

米中摩擦に関する不透明感は継続してい  
ますが、中国政府は景気への下押し圧力  
を和らげるため積極的な政策を打ち出し  
ています。金融政策面では、企業の資金  
繰りを支援する狙いなどから預金準備率  
を引き下げたことに加え、事実上の政策  
金利である最優遇貸出金利も引き下げま  
した。また、消費関連分野においても、  
自動車購入制限の緩和を発表するなど、  
習近平指導部は景気腰折れを回避する姿  
勢を鮮明にしています。米国の保護主義  
的な政策は波乱要因として残りますが、  
中国政府による景気支援策を背景に企業  
業績は堅調に推移するものと見込んでお  
り、これを受け香港・中国株式市況も底

2019年4月23日～2019年10月21日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	87	0.840	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(42)	(0.406)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(42)	(0.406)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.037	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(4)	(0.037)	
(c) 有価証券取引税	1	0.013	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(1)	(0.013)	
(d) その他費用	8	0.076	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(7)	(0.072)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	100	0.966	

期中の平均基準価額は、10,314円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

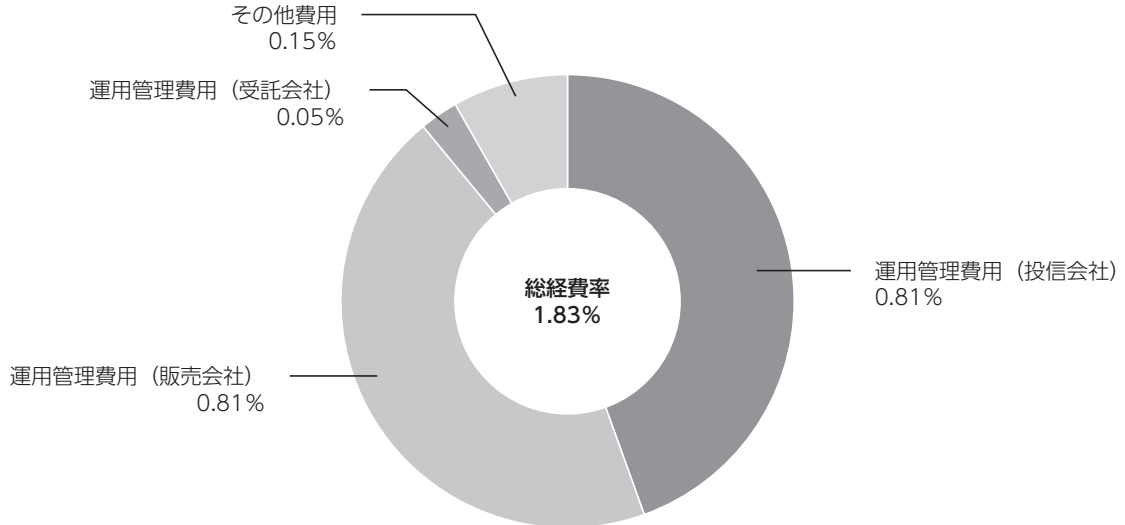
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月23日～2019年10月21日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千口 6,099	千円 6,218	千口 19,494	千円 20,009

○株式売買比率

(2019年4月23日～2019年10月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	チャイナ・イノベーション マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	58,262千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	326,005千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.17	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月23日～2019年10月21日)

利害関係人との取引状況

<チャイナ・イノベーション・オープン>

該当事項はございません。

<チャイナ・イノベーション マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	百万円 6	百万円 3	% 50.0	百万円 22	百万円 11	% 50.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年4月23日～2019年10月21日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 300	百万円 —	百万円 —	百万円 300	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2019年10月21日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千口 326,552	千口 313,156	千円 350,297

## ○投資信託財産の構成

(2019年10月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千円 350,297	% 98.3
コール・ローン等、その他	6,217	1.7
投資信託財産総額	356,514	100.0

(注) チャイナ・イノベーション マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(347,227千円)の投資信託財産総額(350,290千円)に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=108.52円	1香港ドル=13.84円	1オフショア元=15.36円	
-----------------	--------------	----------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	356,514,791
コール・ローン等	6,217,658
チャイナ・イノベーション マザーファンド(評価額)	350,297,133
(B) 負債	2,868,342
未払信託報酬	2,862,671
未払利息	3
その他未払費用	5,668
(C) 純資産総額(A-B)	353,646,449
元本	321,989,299
次期繰越損益金	31,657,150
(D) 受益権総口数	321,989,299口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,983円

<注記事項>

- ①期首元本額 333,290,000円  
 期中追加設定元本額 7,337,446円  
 期中一部解約元本額 18,638,147円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0983円です。

○損益の状況 (2019年4月23日～2019年10月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,224
受取利息	12
支払利息	△ 1,236
(B) 有価証券売買損益	△23,030,163
売買益	2,935,744
売買損	△25,965,907
(C) 信託報酬等	△ 2,868,348
(D) 当期損益金(A+B+C)	△25,899,735
(E) 前期繰越損益金	59,138,848
(F) 追加信託差損益金	△ 1,581,963
(配当等相当額)	( 1,323,748)
(売買損益相当額)	(△ 2,905,711)
(G) 計(D+E+F)	31,657,150
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	31,657,150
追加信託差損益金	△ 1,581,963
(配当等相当額)	( 1,335,488)
(売買損益相当額)	(△ 2,917,451)
分配準備積立金	59,138,848
繰越損益金	△25,899,735

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2019年4月23日～ 2019年10月21日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	1,335,488円
分配準備積立金額	59,138,848円
当ファンドの分配対象収益額	60,474,336円
1万口当たり収益分配対象額	1,878円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

目論見書に記載の投資リスク(カントリーリスク)および手続・手数料等(お申込みメモ(購入・換金申込受付の中止及び取消し))につき、中国を取り巻く投資環境、政治・経済状況等を勘案し、記載変更を行いました。

## チャイナ・イノベーション マザーファンド

### 《第2期》決算日2019年10月21日

[計算期間：2019年4月23日～2019年10月21日]

「チャイナ・イノベーション マザーファンド」は、10月21日に第2期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として中国の企業の株式等に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。 株式等への投資にあたっては、次の時代を創るイノベーションを見極め、未来をけん引する銘柄を選定します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
(設定日) 2018年10月9日	円	%	%	%	百万円
1期(2019年4月22日)	10,000	—	—	—	296
1期(2019年4月22日)	11,950	19.5	96.2	—	390
2期(2019年10月21日)	11,186	△ 6.4	97.0	—	350

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
(期 首) 2019年4月22日	円 11,950	% —	% 96.2
4月末	11,620	△ 2.8	95.1
5月末	9,896	△17.2	92.3
6月末	10,414	△12.9	94.5
7月末	10,602	△11.3	95.7
8月末	10,375	△13.2	96.3
9月末	10,650	△10.9	97.1
(期 末) 2019年10月21日	円 11,186	△ 6.4	97.0

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

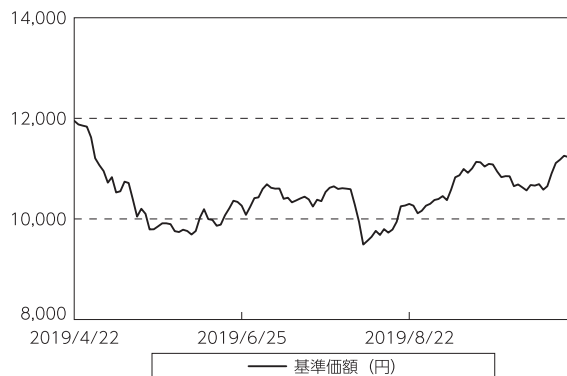
## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.4%の下落となりました。

#### 基準価額等の推移



### ●基準価額の主な変動要因

#### (下落要因)

組入銘柄であるBAIDU INC - SPON ADRやTENCENT HOLDINGS LTDなどの株価が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

### ●投資環境について

#### ◎株式市況

- ・香港及び中国本土株式市況は下落しました。  
香港株式市況は、トランプ米大統領が対中関税の引き上げを表明したことや、香港において「逃亡犯条例」改正案を巡る抗議デモが継続したことなどが嫌気され下落しました。中国本土株式市況も、中国人民銀行（中央銀行）による金融緩和策などを受けて上昇する場面もありましたが、米中摩擦の長期化懸念などを背景に、期を通してみると下落しました。

#### ◎為替市況

- ・香港ドル及び中国人民元は下落しました。  
香港ドル及び中国人民元は、米中貿易摩擦を巡る不透明感が高まったことなどを背景に円に対して下落しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資し、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。
- ・銘柄選定にあたっては、中国における電子商取引やインターネットビジネスの成長の恩恵を受けると判断したインターネット関連大手銘柄への重点的な投資を継続しました。
- ・ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね40銘柄程度で推移させ、期末は37銘柄としました。
- ・企業業績や株価動向を踏まえ、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。その結果、SHENZHOU INTERNATIONAL GROUPを新規購入する一方、CHINA TELECOM CORP LTD-Hの全売却などを行いました。

## ○今後の運用方針

- ・引き続き、中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資することで、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。
- ・米中摩擦に関する不透明感は継続していますが、中国政府は景気への下押し圧力を和らげるため積極的な政策を打ち出しています。金融政策面では、企業の資金繰りを支援する狙いなどから預金準備率を引き下げたことに加え、事実上の政策金利である最優遇貸出金利も引き下げました。また、消費関連分野においても、自動車購入制限の緩和を発表するなど、習近平指導部は景気腰折れを回避する姿勢を鮮明にしています。米国の保護主義的な政策は波乱要因として残りますが、中国政府による景気支援策を背景に企業業績は堅調に推移するものと見込んでおり、これを受け香港・中国株式市況も底堅く推移すると見えています。
- ・株式組入比率については、概ね90%以上の水準を維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年4月23日～2019年10月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 4 ( 4 )	% 0.038 (0.038)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	1 ( 1 )	0.013 (0.013)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	8 ( 8 ) ( 0 )	0.075 (0.073) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用  信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	13	0.126	
期中の平均基準価額は、10,455円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2019年4月23日～2019年10月21日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 4	千アメリカドル 43	百株 2	千アメリカドル 35
	香港	1,306	千香港ドル 743	817	千香港ドル 726
国	中国オフショア	200 ( 42)	千オフショア元 645 ( -)	451	千オフショア元 1,248

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併による増減分で、上段の数字には含まれておりません。



○株式売買比率

(2019年4月23日～2019年10月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	58,262千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	326,005千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.17

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月23日～2019年10月21日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 6	百万円 3	% 50.0	百万円 22	百万円 11	% 50.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年10月21日現在)

外国株式

銘柄	株数	金額	当期		業種等
			株数	金額	
			株数	金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
BAIDU INC - SPON ADR	9	9	95	10,345	メディア・娯楽
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR	8	10	115	12,537	消費者サービス
TAL EDUCATION GROUP- ADR	41	41	161	17,545	消費者サービス
AUTOHOME INC-ADR	12	14	120	13,052	メディア・娯楽
JD.COM INC-ADR	8	8	24	2,647	小売
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	17	16	270	29,366	小売
GDS HOLDINGS LTD - ADR	53	53	216	23,525	ソフトウェア・サービス
BAOZUN INC-SPN ADR	6	6	24	2,669	小売
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	156 8	158 8	1,029 -	111,689 <31.9%>
(香港)			千香港ドル		
CHINA UNICOM HONG KONG LTD	280	280	232	3,224	電気通信サービス
BYD CO LTD-H	30	30	115	1,596	自動車・自動車部品
CHINA TELECOM CORP LTD-H	640	-	-	-	電気通信サービス
CHINA MOBILE LTD	55	55	363	5,035	電気通信サービス
CSPC PHARMACEUTICAL GROUP LT	180	180	313	4,334	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	250	250	242	3,352	半導体・半導体製造装置
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	180	180	1,702	23,566	保険
TENCENT HOLDINGS LTD	66	62	2,052	28,402	メディア・娯楽
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	-	46	490	6,786	耐久消費財・アパレル
CHINA COMMUNICATIONS SERVI-H	640	640	303	4,198	資本財
GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LT	330	330	452	6,266	自動車・自動車部品
SUNNY OPTICAL TECH	31	31	368	5,096	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HAIER ELECTRONICS GROUP CO	150	150	314	4,349	耐久消費財・アパレル
ALIBABA HEALTH INFORMATION T	280	280	198	2,743	ヘルスケア機器・サービス
HUA HONG SEMICONDUCTOR LTD	200	200	308	4,268	半導体・半導体製造装置
PING AN HEALTHCARE AND TECHN	384	331	2,123	29,387	ヘルスケア機器・サービス
GREENTOWN SERVICE GROUP CO L	1,300	1,180	974	13,489	商業・専門サービス
CHINA TOWER CORP LTD-H	3,580	4,840	832	11,521	電気通信サービス
MEITUAN DIANPING-CLASS B	65	65	602	8,343	小売
XIAOMI CORP-CLASS B	94	94	80	1,112	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,735 19	9,224 19	12,072 -	167,076 <47.7%>
(中国オフショア)			千オフショア元		
HANGZHOU HIKVISION DIGITAL-A	486	80	243	3,747	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SHENZHEN INOVANCE TECHNOLO-A	183	279	647	9,942	資本財
JIANGSU HENGRUI MEDICINE C-A	111	144	1,218	18,716	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SUNING.COM CO LTD-A	70	70	72	1,116	小売
BEIJING EASPRING MATERIAL-A	329	329	731	11,238	素材
BEIJING SHIJI INFORMATION -A	28	28	105	1,623	ソフトウェア・サービス
HAN'S LASER TECHNOLOGY IN-A	45	-	-	-	資本財
IFLYTEK CO LTD - A	48	48	166	2,563	ソフトウェア・サービス
ATER EYE HOSPITAL GROUP CO-A	56	144	544	8,369	ヘルスケア機器・サービス
NAVINFO CO LTD-A	52	78	112	1,727	耐久消費財・アパレル

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株数	評 価 額		
		株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(中国オフショア)		百株	千オフショア元	千円	
UNIGROUP GUOXIN MICROELECT-A		24	117	1,805	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株数・金額	1,432	1,224	3,961	60,850
	銘柄数<比率>	11	10	—	<17.4%>
合 計	株数・金額	10,324	10,607	—	339,617
	銘柄数<比率>	38	37	—	<97.0%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年10月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 339,617	% 97.0
コール・ローン等、その他	10,673	3.0
投資信託財産総額	350,290	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (347,227千円) の投資信託財産総額 (350,290千円) に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.52円	1 香港ドル=13.84円	1 オフショア元=15.36円	
------------------	---------------	-----------------	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	350,290,367
コール・ローン等	10,673,153
株式(評価額)	339,617,214
(B) 負債	1
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	350,290,366
元本	313,156,744
次期繰越損益金	37,133,622
(D) 受益権総口数	313,156,744口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,186円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 326,552,073円  
 期中追加設定元本額 6,099,442円  
 期中一部解約元本額 19,494,771円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1186円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

チャイナ・イノベーション・オープン 313,156,744円

## ○損益の状況 (2019年4月23日～2019年10月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,121,766
受取配当金	2,077,570
受取利息	45,173
支払利息	△ 977
(B) 有価証券売買損益	△28,018,336
売買益	30,762,915
売買損	△58,781,251
(C) 保管費用等	△ 253,663
(D) 当期損益金(A+B+C)	△26,150,233
(E) 前期繰越損益金	63,680,136
(F) 追加信託差損益金	118,832
(G) 解約差損益金	△ 515,113
(H) 計(D+E+F+G)	37,133,622
次期繰越損益金(H)	37,133,622

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。